

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：蛭子委員（事務局加筆修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第9回 防災・あんしん部会				
(2) 開催日時	令和8年5月13日（水） 13：30 ～ 15：10				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室				
(4) 出席した 委員、事務局等	委 員 （部会長：志村 陽子） <敬称略>				
	蛭子 明子	山内 京子	竹内 千代江	石塚 由江	栗田 修平
	西條 由美子	近藤 博子	生駒 友一	窪田 千亜紀	
	事務局：今岡 正道、山下 潤二、秋山 仁志、上玉利 芳綱、江川 奈保美、 小林 琴葉				
1 連絡・確認事項					
(1) 司会・書記の確認（司会：志村部会長、書記：蛭子委員）					
(2) 出欠者・配布資料の確認					
欠席者 名川委員、北畠委員、川端委員、大江委員					
2 前回専門部会の振返り					
第8回専門部会の議事録・ご意見カードの確認 【資料1】【資料2】					
3 議題					
(1) 第2回本会報告についてについて【中間報告書】					
志村部会長より報告。3月27日（金）に第2回本会が開催された。2年任期で中間報告という形で、各専門部会から報告を行った。防災・あんしん部会の報告内容は、中間報告書のとおりで、部会長以外の防災・あんしん部会委員にも報告や意見する場を設けた。また、名川会長から「意思決定支援」について講義をいただき、その内容についてグループに分かれて意見交換を実施した。					
(2) 第6回運営会議報告について					
5月12日に第6回運営会議を開催した。今年度は2年任期の2年目ということで、秋ごろの開催に向けて交流会か学習会という形で自立支援協議会委員が参加する企画を検討していたが、今年度は交流会として開催することが決まった。様々な立場の協議会委員が意見交換できるようにテーマを設定する方向で、現時点では「伴走者」や「連携」というキーワードが挙がっている。名川会長からは交流会を企画するにあたって、運営会議に参加する部会長だけでなく部会委員からも何かしらの形で意見を反映した方がいいのではないかと意見があった。そのため、部会として協力をお願いする可能性があるため、その際は前向きに参加してほしい。					
(3) 令和7・8年度下半期の取組みについて【資料3】【資料4】【資料5】					
ア 今年度の専門部会スケジュール等について					
事務局山下係長から説明。今年度も専門部会は毎月第1水曜日午後の開催を予定している。交流会の開催月は、交流会への参加を優先してほしいため専門部会の開催はない。今年度は2年任期の2年目になるため、令和7・8年度のまとめを行う必要がある。そのため年明けの専門部会は、報告書の締め切りによってはまとめが中心の議題					

となる可能性がある。それらを踏まえて令和7・8年度下半期の取組みについて検討してもらいたい。

イ 令和7・8年度下半期の取組みについて意見交換

昨年度はスペシャルデーへ専門部会として協力したが、今年度は開催方法の見直し等により参加は現時点では難しい。また、次年度以降に取り組みたい内容について意見交換したまとめ、スペシャルデーのアンケートのまとめを【資料3】【資料4】として配布している。それら内容を参考に下半期の取組みについて、意見交換を実施する。

- ・大田 TS ネットで大塚製菓の地域包括推進部の担当者となつなかりができた。事業として「防災ハンドブック」を作成。部会に活動含めて情報提供してもらおう。
- ・2年目はあんしんの部分である「意思決定支援」を取り組みたい。それと同時に昨年度意見のあがった防災シミュレーションを形にして部会外に発信したい。
- ・防災シミュレーションを開催したい。
- ・あんしんについてどのように取り組みができるか検討したい。また、避難所の在り方については障がいあるなし関係なく理解すべきことである。いまだに災害時はとりあえず避難所に行けばいいと考えている方もいる。しかし収容人数上大田区民すべては受け入れられないため、そのことは発信していくべきではないか。また、昨年度のように地区の総合防災訓練に参加もして、地域の人と一緒に防災を考える機会を途切れさせない。意思決定については、障がいによってとらえ方が違うため、特に自分で意思決定が難しい人の支援について検討してみたい。
- ・聴覚障がいがあると年配や独居の方は災害時に避難を遠慮してしまう。緊急時に助けてもらうために近所との共助づくりが必要と感じているが障がいがあるゆえ難しい。
- ・意思決定支援は障がいあるなし関係ないと感じている。先ほど「伴走者」というキーワードがあったが、視覚障がい者にとってはガイドヘルパーを思い浮かべる。支援者や周囲の方が最善だろうと思って支援してくることが、当事者が決めたことなのか疑問がある。
- ・意思決定支援は正解を求めてしまう。わからないことをわからないと言える、困っていることを気遣わずに発信できる、そのような場があれば繋がりとなるのではないか。誰でも困りごと関係なく素直な意見を共有できる場があれば、「伴走者」は必要ないのかもしれない。あんしんカフェがその役割を担う場となってほしい。
- ・相談者は不安を抱えている。できるだけ本人の希望を叶えてあげたいが、それが本人にとって最適とは限らない。社会資源等、提案できる選択肢（本人が選択できる幅）を増やし、より安心できるような支援を考えたい。また、高齢者などの困りごとはイメージしやすいが、障がいの困りごとは身近にいない人が多いからイメージしにくい。部会として発信方法を検討したい。
- ・防災部会は立ち上げから歴史が長く、東日本大震災の経験も踏まえて部会として検討を進めてきた。その成果もあり、大田区防災会議という区長を含めた大きな会議にも、防災・あんしん部会代表として志村部会長が参加している。これまでの防災・あんしん部会としての取組みについてはぜひまとめてほしい。

(志村部会長より)

委員の皆様から今年度の取組みについて、様々な意見をいただけた。今年度は、「あんしん」を主に取り組みつつも、防災に関しても途切れないように検討を続け

たい。前回の専門部会にて、福祉管理課から要配慮者対策について話題提供があったので、今年度は「災害時要配慮者個別避難計画」の進捗状況について、障害福祉課に話をしてもらってもいいのではないかな。また、交流会のテーマとなる「伴走型」について、当事者の多い専門部会としてどう感じるか意見交換も実施できればよい。
→「災害時要配慮者個別避難計画」については、計画を作成する相談支援専門員から話を聞くことで、違った視点で検討できるのではないかな。（事務局）

4 委員及び各関係機関からの情報提供

（１）情報提供

- ・「ぼうさいこくたい 2026」は鳥取県で開催する。詳細については、わかり次第共有する。（石塚委員）
- ・おおた T S ネット拡大定例会についてお知らせ（志村部会長）

（２）ご意見カード記入

＊次回大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会＊

第 10 回専門部会：令和 8 年 6 月 3 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分

会場：さぽーとぴあ A 棟 5 階多目的室